

ムサシトミヨの生息地清掃

熊谷市管工事業協同組合青年部

- 担当役員 茂木宏之
- 実施日 平成17年7月27日(水)・9月27日(火)
- 参加者 20名【青年部員16名 市役所職員2名 組合事務2名】

全国で唯一、熊谷市にのみ生息する埼玉県指定天然記念物（ムサシトミヨ）の保護指定区域内の環境整備のため、堆積汚泥除去、除草作業並びに清掃をおこないました。

実施にあたって、熊谷市教育委員会ならびにムサシトミヨ保存会の指導をうけ

- 川にはいつの汚泥除去
 - 手カマ・熊手による流水面の不用水草の取り除き
 - 草刈機による法面除草
 - 区域内に落ちているごみの分別
 - 刈り取りした草及びごみの処分
- 作業を実施いたしました。
- 作業をおえて

この保護活動の一助として、昨年度に引き続き当青年部

が生息地の汚泥除去及び除草作業等のボランティアを実施したことは自然保護に対する市民の関心をたかめ保護活動の更なる発展につながるものとして、関係者に非常に高い評価をいただき、さらに組合全体に自然保護活動に対する関心が高まり青年部の活動に一層の理解を得られています。

ムサシトミヨ保護活動に少しでも協力できたことは、我々青年部員も自然保護活動に対する必要性を再認識させられ当青年部員にとっては誇りであり、また、本活動に対する周囲からの評価も非常に高く、社会的にも必要とおもわれるので、次年度以降も続けてさらに発展した幅広い活動による社会貢献を目指していきたいとおもいます。

全管連青年部協議会事務局の皆様にはこのキャンペーンの継続をお願いいたします。



作業前（横断幕を新規に作成し、新たな気持ちで作業に従事する。気合が入ります）



草刈状況（湧水源での作業。水温は常時15度で、川の中は真夏でも手足がしびれるほどの冷たさです）



作業状況（猛暑の中での「元荒川」の法面での除草作業です）



ムサシトミヨ（トゲウオ科のトミヨ属に分類され、希少水生動物の一つになっています。体長5cm位で背中にトゲがあります。水草を集めて「オス」が巣をつくり、「オス」が子育てをします。世界中で、熊谷だけに棲んでいます）